

YOU & あい

大田原国際交流会

発行責任者 後藤 秀雄

日本語教室での出会い

会員 吉澤 ヤイ子

大田原国際交流会と初めて出会ったのは、市民学校の日本語教育指導者養成講座を受講した時でした。その頃ラジオで聞いていた臼井佳子さんが講座の先生でした。ユーモアを交えた素晴らしい話術に魅了され、ますます楽しくなりました。先生のようなきれいな日本語が話せたわけではないのですが、一緒に学習していた仲間達も個性的な方々ばかりで、楽しくて週 1 回 2 時間の学習日が待ち遠しかった思い出があります。



半年ほどして仲間に誘われ、学びながら実践で日本語を教えることになり、ますますのめり込んでいきました。それから 13 年以上が過ぎました。その間、私の人生にも両親の他界、子供達の結婚、孫の誕生といろいろありました。日本語教室が楽しくて休みながらもまだ続けております。

多くの感動的なことがありました。歴史を直に感じることもありました。7 年ほど前になりますが、ハワイに住む日系アメリカ人で ALT として働いていた男性が日本語教室に来ました。彼は自分の名前はジョン久場（くば）だと名乗り、「久場島を知らないか」と聞いたのです。恥ずかしいことに私は久場島の名前もどこにあるのかも分かりませんでした。後で地図帳を調べると、尖閣諸島の一つで中国船出沒で話題の魚釣島の隣にあったのです。先祖がハワイに移住する時に故郷である久場を絶対に忘れないために名字を変えたとか。元の名字は久場ではなかったとのことでした。大好きな故郷を絶対に忘れたくないという心情を思うと胸がいっぱいになります。久場島を教えてくれた彼は、埼玉県で新しく ALT の職を得たと言って引っ越して行きました。

これからは外国の方々、多数来日されるだろうと思います。少しでもお役にたてればと思っています。

日本語の教え方教室

6 月 6 日（木）から 6 ヶ月間大田原市生涯学習センターで開催します。

講師は 久好孝子氏（東洋大学講師・那須塩原市在住）

忘年会

2018 年（平成 30 年）12 月 19 日（水）生涯学習センター二階の会議室、パーティーには狭いくらい沢山の人が参加してくれました。子供のバイオリン演奏、福祉大生による中国の太極拳、ピンゴゲームなどで盛り上がりました。一品持ち寄りの料理は外国の珍しい物が沢山並び、大いに楽しみました。

第34回総会

2019年（令和元年）5月11日（土）大田原市生涯学習センターにて、大田原市長津久井富雄氏、栃木県国際交流協会理事長美野輪茂氏を来賓に迎え開催しました。2018年の事業・決算、2019年の事業計画・予算案も承認されました。

総会後の研修は、日本語教室の生徒であるクロウィさんの講演でした。

講演 『いつもゴルフから始まります』

大田原市 ALT クロウィ・キュービット

演壇に颯爽と登場したのは明るい表情のレディです、少し訛りはあるがはっきりとした日本語で話し始めました。

9,300 km離れたイギリスから2017年にやって来て、大田原中、西原小、紫塚小で英語を教えています。イギリスという国は、スコットランド・北アイルランド・ウェールズ・イングランドの4つの国が一緒になった王国、The UK (United Kingdom) です。約6,500万人が英語を話し、ポンドを使って暮らしています。私はロンドンに住んでいましたが18歳の時セントアンドリュース大学に入りました。

セントアンドリュースはゴルフ場が有名です。これは1427年に作られた世界初のゴルフコースです。浜田善弥氏が1972年大田原市に、このコースを模したゴルフ場を作りました。ここから大田原とセントアンドリュースの交流が始まりました。

1988年セントアンドリュースの高校生の受け入れが始まり、相互派遣を実施するようになり、1993年には大田原へALTとして来日するようになりました。浜田氏が桜の種を1,000粒贈ってくれたので、セントアンドリュースでも桜を見ることが出来ます。セントアンドリュースの人口は25万人で、3つの大きな通り（ストリート）とマーケットストリート（市場）があり、西の地域にはお城の遺跡があり、大学のキャンパスは至る所にあります。卒業試験が終わると水を掛け合う習慣があります。

講演の後、イギリス国歌と飯島さんのハーモニカ伴奏でスコットランド民謡の『蛍の光』をみんなで歌いました。この歌は、本来別れの歌ではなく、皆の過去と未来を主題にしたものだそうです。



あとがき

ご存じの通り皇位継承により、5月1日から年号が『令和』に変わりました。報道機関では、上皇様のこれまでの業績や、新天皇様のご様子を報じ新しい時代の幕開けを告げています。国内での戦争はなく平和だった平成、でも自然の災害は避けられませんでした。令和の時代は災害もなく、みんなが幸せに暮らせるよう願ってやみません。

そのために、私達は、何をしたら良いのか、何が出来るのか。考えることは多くても、出来ることはわずかです。微力を恥じながらも、新しい時代の幸せを願わずには居られません。

大田原国際交流会

大田原本町1-2716-5
(大田原市生涯学習センター内)

TEL/FAX 0287-22-5353

E-mail oifa@nas.ne.jp

<http://www13.nas.ne.jp/oifa/>

広報部

唐橋洋子 大久保愛子